

Business Report

ECHO

Vol.42

2016.4.1 -
2016.9.30



第一興商 証券コード:7458

新商品

NEW PRODUCTS

新商品 2機種を10月21日発売開始

当社は、業務用通信カラオケDAMの新商品2機種をリリースしました。

ナイト市場向けモデル「Cyber DAM HD」がグレードアップ

ナイト市場におけるスタンダードモデル「Cyber DAM HD」が進化しました。

「シャインパープル」を基調とし、曲線美がアクセントとなる新機種は、上質な雰囲気醸成、設置する店舗のインテリアスタイルを選びません。ナイト市場で人気の高い演歌・歌謡曲や外国曲を増曲し、本人出演映像をより充実しました。また、「精密採点DX Lite」「戦国カラオケ天下統一」などカラオケを盛り上げる新コンテンツも追加しています。

主力のナイト市場に新しいCyber DAM HDを投入することで、さらなるシェア拡大を目指します。

エルダー市場専用モデル「FREE DAM HD」新登場

現在、当社が力を入れるエルダー（高齢者向け）市場に向けて新商品を発売しました。

生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」の専用機「FREE DAM HD」は、カラオケの根幹である曲数と映像を大幅に強化しました。また、高齢者が聞き取りやすいようにウーファを大口径とし音質を高めました。高齢者の介護予防や機能訓練に役立つコンテンツも拡充し、楽しみながら継続できる「うたと音楽」による音楽健康セッションのバリエーションがさらに広がります。施設スタッフの操作をサポートする機能も付加されており、より使い勝手が向上しています。FREE DAM HDの発売を機に、高齢者施設での導入が2万カ所を突破したDKエルダーシステムの拡販をさらに強化し、高齢者の健康増進・介護予防に寄与していきたいと考えます。

Cyber DAM HD
G100XII



DAM-G100XII

FREE DAM HD



DAM-F750HD



復旧・復興支援活動を展開

「ふるさとくまもと応援寄附金」拠出と義援金を寄附

今年4月に発生した平成28年熊本地震で被災された方々と被災地での復旧・復興にお役立ていただくために「ふるさとくまもと応援寄附金」として6月に1億円を拠出しました。また、ビッグエコーをはじめとする500店超のカラオケボックスで4月から5月にかけて募金活動を行い、お預かりした義援金5,907,363円を日本赤十字社を通じて寄附しました。お客様からのご支援に厚くお礼申し上げます。



林社長と蒲島都夫熊本県知事

仮設住宅の方々に寄り添った健康維持と増進のために

熊本県/NTT西日本/第一興商の共同事業として、仮設住宅内にある集会所「みんなの家」で、当社が提供する健康維持と生活不活発病予防等に役立つ音楽健康セッションを用いた「歌と健康サービス」を9月よりスタートさせました。

当社は、被災された皆様が一日も早く平常の生活に戻られることを願い、今後もさまざまな支援を行ってまいります。



「みんなの家」での音楽健康セッション



リーディングカンパニーとしての 責務を果たし、 収益性を意識した経営を行います。

代表取締役社長 林 三郎

続いています。そして今期は、ナイト市場向けの「Cyber DAM HD(DAM-G100XII)」とエルダー市場向けの「FREE DAM HD(DAM-F750HD)」という新商品2機種を10月にリリースしました。「Cyber DAM HD」は上位機種の「LIVE DAM」シリーズに近づけることを意識し、高いスペックを有しながら価格を抑え置いたことで、ディーラーの皆様から「価格メリットがあり、投資効率が良い商品」という評価をいただいています。

エルダー市場は2015年の介護保険制度改定により、需要が足踏み状態でしたが、1年が経過してその影響の見極めが終わり、需要が動き出しました。

そのタイミングに合わせてエルダー市場へ投入した「FREE DAM HD」は従来機よりも基本スペックを大幅に増強しました。フルHDにも対応し、大画面につないでも鮮明で高精細な映像のままカラオケや介護予防・健康増進に有用なエルダーコンテンツを利用できるようになりました。「運動・口腔・認知」という健康に寄与する3つの要素を深掘りしたコンテンツを搭載しているため、地域住民の健康寿命の延伸や地域コミュニティの活性化を目指す自治体からのオファーも増えています。

高齢者ばかりでなく、ストレス社会に生きる働き手に対してもカラオケがストレス軽減に寄与することは、当社と大学や介護施設等との共同研究により明らかです。当社はリーディングカンパニーとして、企業や全国の自治体にカラオケが持つ能力を認識していただけるような社会貢献活動を続けることで、成長機会を得たいと考えています。

震災の影響を通期でカバーする 筋肉質となる投資を意識

私が当社の社長となったのは、東日本大震災後間もなくでした。日本経済の先行きが不透明となる中、当社グループは力を結集して乗り越えることができました。この教訓を生かすため、就任以来、企業体質の強化を図ってまいりました。

今期は期初に熊本地震が発生し、熊本県とその周辺地域に甚大な被害をもたらしました。当社グループの事業にとっても大きなマイナス要因となりましたが、社員が一丸となった結果、当第2四半期の売上高は68,821百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益は9,739百万円(同1.7%減)、経常利益は10,012百万円(同6.7%減)となり、期初予想を上回る結果となりました。通期においても震災の影響をカバーし、期初の計画通りの業績達成を目指してまいります。来期以降はエルダー事業のさらなる拡販とナイトマーケットの活性を見越した投資を計画しています。

当社の歴史はまだ40年余りですが、カラオケを軸に据えて未永く存続する企業になるべく努力を続けてまいります。ステークホルダーの皆様におかれましては、当社グループの活動と成長にご期待いただくとともに、ご支援ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

市場に適応した コンテンツの強化に注力

カラオケ市場は大きく「ナイト(酒場)市場」「カラオケボックス市場」「その他の市場」に分けることができ、それぞれ「縮小」「維持」「拡大」という表現が当てはまります。

スナックやバーなどのナイト市場は、全体から見ると縮小に歯止めが利かない状況が続いています。最も大きな問題は経営者の高齢化であり、若者のスナック・バー離れですが、世代交代により少しずつ明るい変化が起こっています。カラオケ分野に限って言えばVIPルームを設けて1店に複数台のカラオケ機器が入る高級店が増えています。また女性の社会進出により、女性のお客様を意識した店舗も増えているため、カラオケ開発においても女性向けコンテンツの強化が重要であると認識しています。

カラオケボックス市場は昔も今も若者が中心顧客層ですが、昼間の時間帯に高齢者のグループやファミリー需要が増えて利用率が向上しています。当社グループは、これまでファミリー層に向けた取り組みとしてキッズルームを併設するなど、親が安心して歌える環境を整えてきましたが、さらなるファミリー向けサービスを提供して顧客満足の向上を図ります。また、高齢者の皆様に喜んでいただける健康に配慮した飲食メニューを用意するなど、さまざまな顧客層に向けた施策も積極的に取り入れていきます。

一方、成長を続けているエルダー(高齢者)市場は、堅調に拡大しています。当社は、2001年に健康維持と介護予防を支援する生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」の提供を開始し、すでに2万カ所を超える高齢者施設に納入して好評を得ています。対象となる施設は全国で10万カ所以上もあり、これらを取り込むことで事業の拡大を目指していきます。

ナイトとエルダー市場向けに 新機種を投入して成長を目指す

このような市場環境を踏まえて、昨年、カラオケボックス市場向けに究極のライブサウンドと映像を追求した業務用通信カラオケシステムDAMのフラッグシップモデル「LIVE DAM STADIUM」を投入し、大変好評を得て今期も順調な出荷が

LIVE DAM STADIUMのデュアル映像を拡充

フラッグシップモデル「LIVE DAM STADIUM」に搭載するデュアルモニター機能が好評です。デュアルモニターは、2つの異なる映像を同期して再生することで、バラエティに富んだ映像空間を提供します。たとえば、メインモニターではアーティストのステージパフォーマンスを、スペシャルモニターには会場で盛り上がるオーディエンスを映し出すことによって、ライブの臨場感がカラオケルームで体験できます。特にプロジェクターを使った迫力の大画面による映像演出は圧巻で、一度利用されたお客様が再来店されるケースが増えており、集客向上につながっています。

当社は、アーティストの本人映像と歌声をそのまま楽しめる「まま音」や、熱狂的なライブの模様を再現する「LIVEカラオケ」と併せ、スペシャル映像の充実にも力を入れています。ぜひご体感ください。



プロジェクター使用例 ※画像はイメージです。

<p>LIVE DAM STADIUM デュアル映像</p> <p>多彩なアーティスト映像の中から一部をご紹介します。</p> <p>※並びは50音順です。 上段：メイン映像 下段：スペシャル映像</p>	<p>超特急</p>	<p>ナオト・インティライミ</p>	<p>長瀬 剛</p>
<p>秦 基博</p>	<p>BAND-MAID</p>	<p>BEGIN</p>	<p>山崎まさよし</p>

ツクイと認知機能低下予防・BPSD症状軽減の共同研究を実施

当社はデイサービス最大手の株式会社ツクイと提携し、認知機能の低下予防およびBPSD（認知症による行動や心理の症状）軽減を支援するプログラム構築を目指し、2016年9月から2017年3月まで共同研究を実施しています。

本研究の結果によって、軽度認知症の方を対象とした新しい支援プログラムの効果が示されることで、認知症の方の生活機能を可能な限り維持するとともに、介護者の支援サービスの質的向上と負担軽減に資することができると考えます。

認知症の問題は本人だけでなく、家族、介護者、地域社会を巻き込み、医療・介護給付費等の直接コストや労働力損失等のインフォーマルコストなど、多くの社会的課題を抱えています。ツクイと当社は、双方の持つインフラやノウハウを相互活用することで、これらの課題解決を求められる認知症の方のケアに関して新たな支援施策を提案し、他の地域、介護施設における支援方法のロールモデルとなることを目指してまいります。

「DKエルダーシステム」を用いた認知機能低下予防・BPSD軽減プログラムを実践する教室
上：ツクイ山科勸修寺 下：ツクイ神戸板宿



新たなスペシャルメニューも登場！

ビッグエコーブランドメニューをリニューアル

ビッグエコーでは、10月よりブランドメニューを大幅に改定しました。

メニューの数をある程度絞り込むことにより、オペレーション負荷の軽減と食材ロスの削減を進めます。

フードメニューは、調理工程が簡略でありながらもお客様に自信を持ってお薦めできるメニューで構成しました。肉料理3品「ごろっとビーフ煮込みのチーズ焼き」、「チキンのオープン焼き フレッシュトマトのバジルソース」、「ドルチェポルコのロースト」は、ビッグエコー自慢のスペシャルメニューです。

ドリンクは、アルコール飲料の定番として人気のハイポールのラインアップを拡充。「ノーマル」のほか「濃いめ」「ジンジャー」「コーラ」など、ハイポール愛好家の興味をそそるメニューを取りそろえています。

当社は、顧客満足度No.1を目指し、今後も魅力ある店舗づくりやお客様に喜んでいただけるメニューの開発を行ってまいります。ビッグエコーをご利用の際はぜひご賞味ください。



飲食新業態の展開

続々と新店舗がオープン

近年、お客様の成熟化が進むとともに、より専門性の高い飲食店が選ばれる傾向にあります。そこで、「個」のお客様の需要を取り込むために新たな業態の開発に取り組んでいます。

お一人様からグループでのご利用まで、あらゆるシーンにおいて快適にお過ごしいただくために、エリアごとに異なったテーブルや椅子をご用意しました。また、ご当地メニューなどほかにはない個性的な料理、産地直送食材の使用、さらには朝獲りへの取り組みなど、おいしさをとことん追求したメニューを展開。どの店舗においても、ご満足いただけるこだわりの食と居心地のいい空間でお客様をおもてなしします。

既存のカラオケ店舗の立地スペースを活用した飲食新業態の出店より、新たな付加価値を提供するとともに、カラオケ店舗へ誘導するシナジー効果を創出します。今後も市場に見合った魅力ある店舗づくりに努めてまいります。



青葉珈琲店 埼玉/朝霞



品川HIGHBALL BAR 東京/品川



IL MARE 神奈川/横浜



BISTRO-YA 東京/上野

DAM CHANNELアプリを開始

通信カラオケDAMでカラオケ演奏の合間に放映される音楽情報コンテンツDAM CHANNELをバージョンアップさせ、新サービス「DAM CHANNELアプリ」を7月より開始しています。



DAM CHANNELアプリ
ダウンロード用QRコード

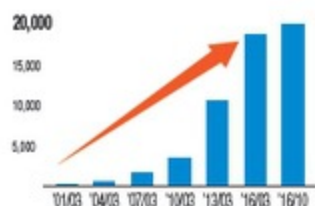
お気に入りアーティストの情報配信や、ライブイベントがもっと楽しくなる「ライブ連動機能」に加えて、店舗検索機能やカラオケランキングなどのコンテンツも充実しています。

DAMユーザーに有益な情報を発信するオウンドメディアとしてDAM CHANNELの価値をさらに高めることで、DAMユーザーとアーティストとの結び付きを深めると同時に、DAM設置店舗への集客を図ります。今後ますます進化していくDAM CHANNELにご期待ください。

DKエルダーシステム
導入施設2万カ所突破

生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」を導入する高齢者向け施設が10月に2万カ所を突破しました。「運動・口腔・認知」など高齢者の生活機能向上の効果を認められているだけでなく、楽しみながら続けられるプログラムが最大の魅力です。これからは健康寿命延伸に寄与すべくDKエルダーシステムの拡販に努めます。

DKエルダーシステム導入件数の推移



今度の精密採点は得点が無限大！

「カラオケ@DAM for "PlayStation 4"」サービス開始

ハイクオリティな音源と映像で手軽に“おうちカラオケ”を楽しめるストリーミングカラオケサービス「カラオケ@DAM for "PlayStation 4"」の提供を開始しました。PlayStation®4に専用アプリ（無料）をダウンロードしてチケットを購入すれば1,000円（税別）で30日間、約12万曲が歌い放題です。毎週約200曲が追加されるので新しい曲も見つかります。

さらには、テレビでもおなじみの「精密採点」に加えて「精密採点∞（インフィニティ）」を新搭載。「音程・タイミングの正確さ」「歌唱テクニック」が連続するとコンボになり高得点が狙える、ゲーム性を持ったコンテンツです。これまでの採点は100点が上限でしたが、この「精密採点∞」では点数がカウントアップしていき、得点はまさに無限大（∞インフィニティ）です。

「カラオケ@DAM」は今後もさまざまなニーズとデバイスに対応するとともに、それに伴う新機能をリリースしていく予定です。

※PlayStationは、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。



科目	2015/3		2016/3		2017/3	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
経営成績(百万円)						
売上高	65,046	133,111	70,362	141,310	68,821	142,200
営業利益	9,688	19,034	9,910	19,886	9,739	19,000
営業利益率(%)	14.9	14.3	14.1	14.1	14.2	—
経常利益	10,791	21,082	10,727	21,127	10,012	20,400
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	6,491	13,650	6,467	12,599	4,203	10,100
財務状況(百万円)						
総資産	173,013	180,312	177,631	179,641	182,659	—
純資産	106,321	110,264	109,692	112,754	115,858	—
キャッシュ・フロー(百万円)						
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,442	30,264	12,472	27,100	14,811	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,804	△18,459	△15,320	△27,434	△8,667	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,071	3,672	△4,100	△7,299	△3,569	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	52,156	60,007	53,011	52,247	54,426	—
1株当たりデータ(円)						
1株当たり四半期(当期)純利益	111.75	235.13	111.85	218.25	72.98	175.86
1株当たり純資産	1,812.11	1,879.44	1,881.43	1,933.03	1,992.46	—
1株当たり配当金	50.00	50.00	54.00	54.00	54.00	54.00
主要経営指標(%)						
総資産経常利益率(ROA)	—	12.3	—	11.7	—	—
自己資本当期純利益率(ROE)	—	13.0	—	11.4	—	—
自己資本比率	60.8	60.5	61.0	62.0	62.6	—
配当性向	—	42.5	—	49.5	—	61.4

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(単位:百万円)



セグメント別概況



売上高 33,521 百万円
営業利益 7,721 百万円



- 前期発売した新商品「LIVE DAM STADIUM」を中心に引き続き安定収益を強化した結果、機器貸出件数及びDAM稼働台数は順調に増加。
- エルダール市場においては、民間介護施設等での導入に加え、自治体の各種施設等での導入も着実に伸長。



売上高 27,083 百万円
営業利益 2,824 百万円



- カラオケルームにおいては、引き続き既存店の活性化や従業員教育の強化、顧客満足度の向上による収益基盤の強化に注力。
- 飲食店舗においては、ブランド変更等により既存店の強化、新たな需要への対応として、パル業態などの新業態店舗の開発等、新店出店に注力。



売上高 4,490 百万円
営業利益 76 百万円



- 事業環境は依然厳しい状況で推移しているが、当社グループが強みとする演歌作品の主力アーティストである三山ひろしや水森かおりに加え、芸道55周年を迎えた北島三郎などの作品が収益に貢献し、前年同期比増収増益。



売上高 3,726 百万円
営業利益 778 百万円



- BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターラジオ光」とコンシューマー向けストーリーミングカラオケサービスの拡販に努める。
- 不動産賃貸、パーキング事業などが調整に推移し、前年同期比増収増益。

演歌・歌謡曲

北島三郎



ファンの方はもちろんのこと、師匠でもある作曲家の船村徹先生と作詩家の故・星野哲郎先生、そして初代ディレクターの故・齋藤昇氏など、どの方の恩が欠けても今の北島三郎は存在しなかったと思います。それら幾多の恩を大切に“演歌ひとすじ”に歩んできた北島三郎の「これからの歌手人生は皆様に感謝を伝えていきたい」という想いから、芸道生活55周年記念曲第3弾シングル「幾多の恩」が誕生しました。



J-POP

The Super Ball



青森県出身の佐々木陽吾と神奈川県出身の吉田理幹によるツインヴォーカルユニット。略称は“スパボ”。“甘カワ”なルックス、圧倒的な歌唱力、そしてソングライティング力の高さが最大のセールスポイント。今年7月20日にメジャーデビューシングル「トモダチメーテル」(TOKYO MXほかで放映していたTVアニメ「不機嫌なモノノケ庵」オープニングテーマ曲)を発売しました。期待のニューカマーとして大きな注目を集めています。



会社情報

CORPORATE INFORMATION (2016年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社第一興商 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,768名 グループ 3,342名
主な事業内容	業務用カラオケ事業、カラオケ・飲食店舗事業、音楽ソフト事業、BGM放送事業、Web事業ほか
連結子会社	国内販売子会社24社、その他国内子会社10社、その他海外子会社3社

株式状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	57,434,200株
株主数	14,427名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
保志 忠郊	6,246	10.88
保志 治紀	6,119	10.65
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	3,863	6.73
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,155	5.49
(株)ホシ・クリエート	2,449	4.27

※ 持株比率は自己株式3,102株を控除して計算しております。

役員

代表取締役社長	林 三郎	取締役(非常勤)	馬場 勝彦
専務取締役兼上席執行役員	根本 賢一	取締役(社外)	古田 敦也
専務取締役兼上席執行役員	熊谷 達也	取締役(社外)	増田 千佳
専務取締役兼上席執行役員	三富 洋	監査役(社外常勤)	鶴岡 通敏
専務取締役兼上席執行役員	保志 忠郊	監査役(社外常勤)	大塚 信明
常務取締役兼上席執行役員	和田 康孝	監査役(常勤)	高瀬 信行
常務取締役兼上席執行役員	村井 裕一	監査役(社外)	有近 真澄
取締役兼上席執行役員	渡邊 泰人		
取締役兼上席執行役員	竹花 則幸		

所有者別株式分布



株主優待のお知らせ

2016年9月30日最終の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈致します。

所有株式数	年2回発行	
	優待券 ^{※1}	CD交換 ^{※2}
100株以上 1,000株未満	500円券×10枚	1枚
1,000株以上	500円券×25枚	2枚

※1 当社が運営する「ビッグエコー」店舗、[楽]「ウメ子の家」[ひすたろ家]などの飲食店などでご利用いただけます。
※2 優待券全額と引換えを条件に、アルバムCDと交換いただけます。

贈呈時期 2016年12月2日より送付開始
有効期間 2017年1月1日～2017年6月30日

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当受領株主確定日	期末配当金については3月31日 中間配当金については9月30日
単元株式数	100株

公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人 及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (郵便物送付先) 電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)